「ほ」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ほ」で始まる語彙辞典 4

おわりに 14

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ほ」で始まる語彙辞典

ほ - いっぽ【歩一歩】
［副］
一歩一歩進むさま。少しずつ目標に近づくさま。「―（と）優勝に近づく」

ほう - いつ【放逸】
［名・形動］
勝手気ままに振る舞うこと。生活態度に節度がないこと。また、そのさま。「―な生活をする」

ほう - えつ【法悦】
① 仏の教えを聞き、それを信じることによって心にわく喜び。法喜。
② うっとりとするような喜び。エクスタシー。「―にひたる」

ほう - えん【豊艶】
［名・形動］
ふくよかで美しいこと。また、そのさま。

ほう - か【放歌】
［名］（スル）
あたりかまわず大声で歌をうたうこと。「酔余―してはばからず」「―高吟」

砲火（ほうか）を交・える
互いに発砲し合う。戦闘状態にある。「国境線で―・える」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほう - き【蜂起】
［名］（スル）
ハチが巣から一斉に飛びたつように、大勢が一時に暴動・反乱などの行動を起こすこと。「悪政に抗して人民が―する」「武装―」

ほう - き【芳紀】
女性の若く美しいころ。年ごろを迎えた女性の年齢。「―まさに一八歳」

ほう - ぎん【放吟】
［名］（スル）
あたりかまわず大声で詩歌をうたうこと。「酔歩―する」「高歌―」

ほうけん - てき【封建的】
［形動］
封建制度特有の性質をもっているさま。一般に、上下関係を重視し、個人の自由や権利を認めないさまをいう。「―な考え方」「―な企業体質」

ほう - げん【放言】
［名］（スル）
他への影響などを考えずに、思ったままを口に出すこと。無責任な発言。「―して世の顰蹙（ひんしゅく）を買う」「―癖のある大臣」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほう - さん【放散】
［名］（スル）
① 外側へ広く散らばること。また、広く散らすこと。「痛みが―する」「異臭を―する」
② 気持ちを発散させること。また、感情が発散すること。「恨みもいきどおりも―する」

ほう - しょう【報奨】
［名］（スル）
努力や行為にむくいてさらにはげますこと。「転作を―する」「―金」

ほう - じゅう【放縦】
［名・形動］
何の規律もなく勝手にしたいことをすること。また、そのさま。放恣(ほうし)。放埒「―な生き方」

ほう - じゅく【豊熟】
［名］（スル）
穀物が豊かに実ること。「―した稲穂」

ほう - じゅん【豊潤】
［名・形動］
豊かで、うるおいのあること。また、そのさま。「―な土地」「―な音色」

ほう - じょう【豊穣】
［名・形動］
穀物がみのりゆたかなこと。また、そのさま。「五穀―を祈る」「―な（の）秋」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほう - じょう【豊饒】
［名・形動］
土地が肥沃（ひよく）で作物がよく実ること。また、そのさま。ほうにょう。「―な（の）大地」

方図（ほうず）がな・い
際限がない。「―・い征服欲」

ほう・ずる【焙ずる】
［動サ変］［文］はう・ず［サ変］
火であぶって焦がしぎみにし、湿気を取り去る。「茶を―・ずる」

ほう - たん【放胆】
［名・形動］
きわめて大胆であること。また、そのさま。「―な行動」「―な離れ業」

ほう - だん【放談】
［名］（スル）
言いたいことを遠慮なく話すこと。また、その話。「時局について―する」

ほう - ちく【放逐】
［名］（スル）
その場所や組織から追い払うこと。追放。「業界から―する」

ほうまつ - むげん【泡沫夢幻】
水のあわと夢とまぼろし。はかないことのたとえ。「―の世」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほう - よう【奉養】
親など目上の人を養うこと。「―を尽くす」

ほう - よく【豊沃】
［名・形動］
土地が肥沃で作物のよく実ること。また、そのさま。「―な（の）地」

ほう - らつ【放埒】
［名・形動］《馬が柵(さく)である埒(らち)からはなれ出る意》
① 勝手気ままでしまりのないこと。また、そのさま。「―な文章」「―な行動をとる」
② 身持ちの悪いこと。酒色にふけること。また、そのさま。「―の限りを尽くす」

ほう - れつ【芳烈】
［名・形動］
香気の強いこと。また、そのさま。「―な酒」

頬(ほお)を染(そ)・める
恥ずかしくて顔を赤くする。「からかわれて―・める」

頬(ほお)を張(は)・る
顔面を平手で打つ。びんたをする。

頬(ほお)を膨(ふく)らま・す
不平や不満の感情を顔に表す。ふくれっ面をする。「不満気に―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほくそ‐え・む【ほくそ笑む】
［動マ五（四）］《「ほくそ」は「北叟」か》
うまくいったことに満足して、一人ひそかに笑う。「してやったりと―・む」

ほく‐ほく
［副］（スル）
① うれしさを隠しきれないさま。「商売繁盛で―している」
② 焼いたりふかしたりした栗・芋などの、あたたかくて、やわらかいさま。「―した焼き芋」

ほくほく‐がお【ほくほく顔】
うれしさを隠しきれないような顔つき。「臨時収入で―になる」

ほこり‐がお【誇り顔】
得意げな顔つき。「―で話す」

矛(ほこ)を収・める
争いや攻撃をやめる。「論難の―・める」

反故(ほご)に◦する
① 無駄に捨てる。「コピー用紙を何枚も―◦する」
② ないものとする。役に立たないものにする。「契約を―◦する」

ほ‐さつ【捕殺】
［名］（スル）
とらえて殺すこと。「畑を荒らす動物を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

星(ほし)の如(ごと)くに列(つら)な・る
多くの人が威儀を正して居並ぶ。「実業界の大物が―・る」

ほ‐せい【保清】
［名］(スル)
身体の清潔を保つこと。「口腔内の―を心掛ける」

ほ‐そく【歩測】
［名］(スル)
一定の歩幅で歩いて、その歩数で距離をはかること。「塀の長さを―する」

臍(ほぞ)を噬(か)・む
《「春秋左伝」荘公六年から。自分のへそをかもうとしても及ばないところから》
後悔する。すでにどうにもならなくなったことを悔やむ。「あとで―・んでも遅い」

ほとけ‐くさ・い【仏臭い】
［形］［文］ほとけくさ・し［ク］
仏教的な感じである。坊主くさい。抹香くさい。「―・い名前」「―・いことばかり言う」

骨(ほね)に沁(し)・みる
骨までしみるほど強く感じる。骨身に沁みる。「―・みる寒さ」「親切が―・みる」

骨(ほね)の髄(ずい)まで
からだの最も中心のところまで。徹底して。「―性根が腐っている」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

骨身（ほねみ）に応（こた）・える
全身に強く感じる。また、心に強く感じる。骨身に沁（し）みる。「寒さが―・える」「忠告が―・えた」

骨身（ほねみ）を削（けず）・る
体がやせ細るほどに努力し苦労する。「―・って働く」

骨（ほね）を埋（うず）・める
そこで一生を終える。また、ある事に一生をささげる。「―・める覚悟で赴任する」

骨（ほね）を惜し・む
労苦を嫌って怠ける。骨を盗む。「―・まず働く」

骨（ほね）を刺・す
寒さや痛さを強く感じる。「―・す寒気」

ほの‐ぐら・い【仄暗い】
［形］［文］ほのぐら・し［ク］
ほのかに暗い。光が弱くてうす暗い。「―・いろうそくの光」

ほの‐じろ・い【仄白い】
［形］［文］ほのじろ・し［ク］
ほのかに白い。かすかに白い。「闇に―・い顔が浮かぶ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほ - ひ【保秘】
［名］（スル）
秘密を外部に漏らさないこと。秘密として保つこと。「情報源を―する」

惚(ほ)れた腫(は)れた
恋に夢中になっていることを強めていう言葉。また、からかっていう言葉。

惚(ほ)れた欲目(よくめ)
惚れた相手を実際以上によく思ってしまうこと。

ほん - あん【翻案】
［名］（スル）
既存の事柄の趣旨を生かして作りかえること。特に小説・戯曲などで、原作の筋や内容をもとに改作すること。また、そのもの。「舞台を日本に置き替えて―する」

ほん - い【翻意】
［名］（スル）
決意をひるがえすこと。「―を促す」「ぎりぎりになって―する」

ほん - ぎまり【本決まり】
正式に決まること。「校舎の増築が―になる」

ほん - し【本旨】
本来の趣旨。本来の目的。「教育の―に反する発言」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ほん - しゅつ【奔出】
［名］（スル）
勢いよくほとばしり出ること。「蒸気が―する」

ほん - ぜん【翻然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① ひるがえるさま。また、ひるがえすさま。「―として話を転じる」
② 急に心を改めるさま。「―として悟る」

ほんゆう - てき【本有的】
［形動］
生まれながらに備わっているさま。生得的。「―な性質」

ほん - りゅう【奔流】
勢いの激しい流れ。「―にのまれる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.